

水の事故から命を守るお約束

暑い夏を迎えると、海や川で水遊びをする機会が増えてきます。
水遊びは楽しい反面、毎年命にかかわる重大な事故も発生しています。
危険な場所や注意点を知り、お子さんと一緒に安全について確認していきましょう。

海でのお約束

監視員がいる海水浴場で遊ぶ



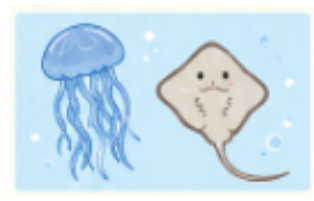
監視員がいる海水浴場を利用しましょう。安全確保のための設備や情報が整っており、安心して楽しむことができます。

荒れている海には近づかない



天候により海の状態は大きく変化します。波が高い時や風が強い時は、海に近づかないようにしましょう。

危険な生き物に注意する



クラゲやエイなど、海には危険な生き物がいます。むやみに触らず、見つけた時は近くの大人に知らせましょう。

川でのお約束

流れの速い場所や深い場所には近づかない



川の様子は場所によって異なります。流れの速い場所や深い場所、足元が滑りやすい場所には近づかないようにしましょう。

大雨の後や増水している時は川に近づかない



川の水位は急に変わることがあります。大雨の後や増水している時は、川には近づかないようにしましょう。

飛び込みや無理な遊びをしない



川底の石や流木などにぶつかる危険があります。深さがわからない場所では飛び込まず、危険な遊びはやめましょう。

⚠ 水の事故のサイン

次のような様子が見られたら、すぐに助けを呼びましょう。

- ☒ 水に浮かんだまま動かない
- ☒ 呼びかけても反応がない
- ☒ 助けを求めることができない
- ☒ 顔が水についたままになっている



必ず守りたいこと

お子さんだけで絶対に水辺に行かせないようにしましょう！

わずかな時間でも事故につながる可能性があります。
必ず大人が付き添い、お子さんから目を離さないようにしましょう。



教室での取り組み

- 🌻 水難の避難訓練を実施し、紙芝居等で水の事故について子どもたちと一緒に考えています。
- 🌻 水遊びの際には、職員が必ず子どものそばにつき、安全に配慮しながら見守っています。

